



特集

香川同友会監事(元代表理事)

『故 野田勝利氏を偲んで』

**香川同友会監事(元代表理事)
野田勝利氏が逝去**

香川同友会監事の野田勝利氏(ワイビー㈱/取締役会長)が、2024年1月31日に逝去されました。享年80歳。

野田氏は1992年に香川同友会へ入会し、1997年に中讃第2支部長、2002年から2008年に副代表理事、2005年から2009年に社員教育委員長を兼務、2008年から2012年に代表理事、2021年から監事と歴任されました(2008年から2012年は中同協幹事)。

家業の倒産を経験後、再建した会社の役員の一員として経営に参画し、ピザ宅配事業に進出しました。香川に出店後、自身が代表者として独立し、数年後には店舗を15店舗に拡大させました。2008年に会社

同友会における野田勝利氏の歴史

年	香川同友会・中同協の経歴
1990年	ピザ・ロイヤルハット 丸亀店、坂出店をオープン
1992年	香川県中小企業家同友会に入会
1993年	ワイビー㈱を設立
1997年	香川同友会 中讃第2支部支部長就任 ※1999年4月まで
2002年	香川同友会 副代表理事就任 ※2008年5月まで
2005年	香川同友会 社員教育委員会委員長就任 ※2009年5月まで
2005年	滋賀同友会 経営指針を創る会を受講
2008年	香川同友会 代表理事就任 ※2012年5月まで
2008年	中同協 幹事就任 ※2012年7月まで
2012年	香川同友会 経営指針を創る会会長就任 ※2023年現在10期目
2021年	香川同友会 監事就任 ※2023年11月現在3期目

をご子息に承継し、自身はイチから農業ビジネスをスタートさせました。
野田氏は2005年に滋賀同友会の経営指針を創る会を受講し、翌年香川で経営指針を創る会を開講させました。代表理事退任後は、経営指針を創る会校長として、「素直・正直」をモットーに多くの会員に温かくも厳しい言葉で気付きを与え続けました。心からご冥福をお祈りいたします。

香川同友会の礎を築いた恩人

私の「不離一体シート」(同友会と企業経営のまとめ)の中で、野田さんが登場します。

2005年、私が香川県経営研究会委員長のとときに「野田さんと滋賀同友会の『創る会』に参加」とあります。そしてメモ書きで「会員同士がお互いの経営のあり方に意見を述べることに驚きを持った。そのまま導入して香川での『創る会』の取組を決断し、プレ創る会取り組む。第1期経営指針を創る会開始」と記録しています。

香川同友会は、1991年に過去最高会勢が2007名の最高峰でしたが、その後2006年の1362名まで大後退し、事務局の賞与支給の減額、定期昇給停止という非常事態という時期でした。この時、野田さんは「今の交流中心の同友会から、経営者としての学びが中心になる同友会」にならねばならないと考え、「本気の経営指針の運動が必要だ」と決意し、滋

賀の「経営指針を創る会」の「受講生」となりました。

滋賀同友会の「経営指針を創る会」には半年間通われ、お供として私も参加しました。滋賀の「創る会」では、受講生や助言者が、お互いの経営のあり方について率直に意見を述べ、自社経営を振り返る場面を体験し、同友会の真価を体感しました。

厳しい時に、我が身をもって原理原則に立ち返り、私たちに道を示されました。香川同友会の今日の礎を築いた恩人だと感謝しています。

香川県ケアマネジメントセンター(株)

代表取締役

林 哲也/記

(代表理事・高松第4支部)

お節介に心から感謝

私が野田さんにご縁を頂いたのは、こだわり麵やを創業した平成10年でした。奥様と散歩がてら、よくお店にお越しただいた事を今でも覚えています。

あれから26年間、温かく見守っていただいた事を本当に



感謝しています。今でも目を閉じると野田さんからの叱咤激励の場面が映像として蘇ってきます。

私は野田さんから経営者として、人間として、大切なことを多く学ばせていただきました。沢山ある思い出の中で、最も印象深かったのは、「あなたの会社に存在価値は無いよ」と言われたこと、そして「人は何のために生まれてきたのか」の問いかけでした。存在価値を否定され、悔しかった私は発奮し、多面的に企業価値を高める努力ができました。結果、あの頃よりよい会社に近づけたのではないかと思います。

また、何のために生まれてきたのか答えを「人は幸せになるために生まれてきたんだよ」と教えていただきました。その後、社員とご家族の幸せを強く意識できるようになりました。

野田さんは、いつもお節介で人間らしい人でした。これからも時折、野田さんを思い出し、自社の存在価値と周り

の人々を幸せに出来ているのかを自分に問いかけてみようと思います。

これまでのお節介に心から感謝し、謹んでご冥福をお祈りします。

(株)ウエストフードプランニング

代表取締役

小西 啓介/記

(代表理事・中讃第2支部)

いつも優しく声を掛けてくれました

私が、中讃第2支部に入会した時の支部長が、野田さんでした。あまり例会に参加していなかったですが、いつも優しく声を掛けてくれたことが印象に残ることです。

香川フードサービスの香川さんから「お願いしたい事がある」との連絡で、何だろうと訪問すると社員教育委員会のヤクルトの岩田さんの座長の代役の依頼でした。「野田さんが心臓の病気で入院するからお願いしたい」との事で、非常に気の重い役でしたが、何回もプレ報告を行い、無事終了しました。

例会における座長の重要性を教えてください、中讃第2支部の例会スタイルが決まりました。野田さんの心臓手術も成功し、一段とお酒が強くなりました。

野田さんに、支部長になってから全国大会に連れて行っていただき、全国の素晴らしい仲間を紹介、又は、訪問して多くの学びをいただきました。

例会で、赤石さんと呼んだときは、中同協の事務局まで同行いただき、打ち合わせのち、赤石さんと吉田さん、辻村さん、松井局長と4時間余り、居酒屋で議論した事が懐かしく思います。

島田治男建築設計事務所 所長
島田 治男／記
(副代表理事・中讃第3支部)

野田さんって…

ご自分を「志願兵」と仰っていました。入会のキッカケは誰それからの紹介がほとんどですが、新聞下段の小広告を観て即刻！「志願入会」された野田さん。初めてお会い

した時、その風貌からかなり年上と勝手に決めていましたが、それから会友として32年間、老け込むことなく最後の最期まで同じ「顔つき」だった野田さん。

全国レベルで他県同友会と積極的に関わり、抜群の行動力を発揮された野田さん。地場香川同友会のPRビデオの、どの場面にも図々しく登場していた野田さん。年齢は上でも同友会では先輩の私を、遠慮がちにか『矢野ちゃん』と呼びつつ、懇親の酒席などで真剣に「甘噛み」してくれた野田さん。同友会大学を3期連続修了され、学長であつた私からの卒業証書授与場面で、照れつつも誇らしげに…得意満面だった野田さん。

「奥さん孝行？」と称し、「大学」の修学旅行二次会のカラオケでは、ご夫婦でそれぞれの十八番を強引に聞かしてくれた野田さん。息子さんがご自宅の庭に設えてくれた練習ネットを指さしながら『アプローチ練習やってるん



だぞ、ゴルフ行こうよっ！』と誘ってくれる野田さん。そんな貴方に、いつも私は素っ気なく「ハイ、ハイ、わかった、わかった…」としか言つてなかつたのです。本当にごめんなさい…野田さん。

矢野 俊郎／記
(相談役・中讃第3支部)

野田さんとの出会い

野田さんとの出会いは、全国行事に何度か一緒にさせていただき、いつも帰りに私の会社の事業承継と後継者育成を心配してくださいました。香川同友会でも例会のテーマに取り上げ、討論を重ねて参りました。

昨年8月、体調がすぐれないとのことでシニア会役員会、例会も欠席されました。体調を心配していた矢先のこととございました。野田さんから『生前想』のご案内をいただきました。野田さんらしいなあと思ひながら出席させていただきました。会場に着くと、大勢の方々

が参加されていて、盛大に開催されました。香川同友会の会員の方々から慕われていた野田さん、皆様から感謝の言葉が絶えませんでした。

野田さんは、同友会に入会して以来、中讃第2支部支部長をはじめ、副代表理事、代表理事、中同協の幹事にご就任されました。香川同友会では、経営指針を創る会校長に就任されました。多くの役員を引き受けられご活躍されました。大変お世話になりました。

野田さんとの思い出は、10年前にシニア会を設立したことです。記念講演は今亡き三宅会長にお願いしました。ついこの間の事のように思い出されます。香川同友会40年の歴史をひもといて、その時々を思い出し共有し、改めて同友会の学びを再確認していました。現在もシニア会頑張っております。野田会長の意思を引き継ぎ、シニア会活動を続けて参ります。

野田さんは農業経営ということで、立派に後継者を育て

農業を広げて参りました。今後のことを考えて来られた結果だと思えます。

野田さん、どうか安らかにお眠りください。私たちはもう少しがんばります。温かく見守ってください。 合掌

(尙奈良企画)

代表取締役会長

奈良 茂子／記

(監事・高松第8支部)

同友会のお父さん

野田さんとの思い出は、自分の同友会人生のほぼ全てが野田さんとの思い出です。

入会当初は、自分の悩みや愚痴ばかりを聞いてくれ、その都度アドバイスや叱咤をしていただき、同友会のお父さんの存在でした。

一番の思い出は2010年に鳥取県鳥取支部準備会の報告者になれば、野田さんが運転手として乗せて行ってくれました。まだ、報告の経験が少くない自分の報告を録音し、帰りの車の中で反省の為に自分の報告を聞かせながら帰ってきた事です。

更にその録音をCDにして、吉田を報告者で呼んで欲しいと配られました。本当に「おせっかい」だと思いましたが、それがなければ全国各地に報告に行くこともありませんでしたし、報告に行くことにより気づきや出会いがあり、そのおかげで今の自分があると思えます。

他は思い出が多すぎて書ききれませんが、思い出の最後は必ずいっぱいのお酒を飲んで、結局アドバイスと叱咤をされた事です。野田さんと川北さんの間に挟まれて、尋常でない量の日本酒を飲まされたのも良い思い出です。

おせっかい好きの同友会のお父さん。本当に本当にお世話になりました。

(株)ビルド 代表取締役

吉田 尚樹／記

(中讃第3支部支部長)

偉大なる世話人

野田さんとは家族のような交流でした。1月31日夜10時、私の携帯に着信がありました。長男の野田祐一社長か



らでした。折り返すと「先程父が亡くなりました」と告げられました。予想していた事とは言え、何とも言えない辛い悲しみや寂しさがこみ上げてきました。

私と野田さんは同友会で知り合い、同じ飲食業界という事もあり、話しやすく30年近い交流となりました。野田さんは私にとって何でも話ができる兄のような存在でした。

仕事においては弊社の社外相談役として長年サポートしていただきました。野田さんは遠慮なくズバツとの確な意見を言う人で、毎年の指針発表会や忘年会などに参加してもらい、叱咤激励の言葉をいただきました。また、長男の公私に渡る「人間教育」指導もお願いし、社長交代に尽力いただきました。

私とは公私に渡り、家族同様にお互いの誕生日を祝い、花見などの食事会など楽しく交流を深めました。私にとっては何でも相談できる唯一無二の人でした。

野田ファーム設立からは、

玉ねぎなどの食材を弊社の各店に直接配達納入してもらい、厳しい仕入れ価格要求にも対応いただき、各店の店長や本社社員から「会長、会長」と、慕われ尊敬される存在でした。(野田さんも弊社の社員との交流が楽しみのようでした)

私にとっては頼りになる大事な人がいなくなりましたが、野田さんが残してくれた暖か味のある「人思いのお節介魂」は引き継いでいけたらと思っています。

私事ばかり述べましたが、野田さんの同友会での歩みは香川同友会の発展に多大なる貢献として残っています。特に一年かけて滋賀同友会の経営者道場に通い「経営指針を創る会」を立ち上げたこと、また岡山同友会に入会し「社員教育塾」を社員教育委員会に導入しました。そして同友会の「共に育つ企業づくり」を推進しました。他、代表理事を4年務め、その後「指針を創る会」の校長として後進の指導に尽力されました。

野田さんはいつも言っていました。「東京から誰も知り合いのいない香川に来て、同友会に入会してから自分の人生が広がった。同友会のおかげだ」そして「年老いても同友会を応援していこう！」と、野田さんは最後まで同友会のシニア会の事務方として会の皆さんの世話に徹しました。

最後まで偉大なる世話人野田勝利でした。

(株)香川フードサービス
代表取締役会長

香川 重義／記
(相談役・三豊支部)

無償の愛の伝道師

野田さんは、私が10年程担当した中讃第2支部の会員であり、局長時代の代表理事、経営労働委員会担当時の経営指針を創る会の発足、シニア会の担当など、長く共に関わりのあった方でした。

双方の家も近く、平日、自宅の前を通った時に、駐車場に私の車が止まっていると、「宮ちゃんどうした？どこか

悪いのか？」とメールをくれるくらい、プライベートでも色々とお付き合いさせていたかったです。

特に思い出されるのは、新潟で行われた全研の際、「せっかく新潟に行くのなら一緒に佐渡島に行こう」と誘われ、全研終了後(ここ大事です！)、ジェットフォイルに乗り込み、一泊二日の珍道中に出発しました。佐渡金山やトキ保護センター、たらい舟など、レンタカーを借りて回り、観光や名物に舌鼓を打ちました。宿泊や交通など全て手配していただき、私はレンタカーを運転するだけという、野田さんのやさしさに触れる旅でした。

会員さんと個人的に旅行したのは、キャンプ以外ではこれが初めてで、野田さんでなければ経験できなかったのではないかと思います。

つい最近の事のように思っていたのですが、振り返ってみると20年近く前の出来事に、少しびっくりすると共に、本当に長い間お世話に



なったことに感謝の言葉しかありません。

香川同友会

事務局専務

宮下 幸雄／記

父、野田勝利について

私は父が24歳の時、長男として産まれ、写真をたくさん撮っていたので、とても可愛がられていたようです。仕事で忙しい父でしたが、必ず毎年旅行に連れて行ってくれ、ラジコン、鉄道模型など遊びも父が先に買って来て一緒に楽しみました。

とても優しい父でしたが、嘘をつく、人に迷惑をかける、約束を破るような曲がったことが嫌いで、逆鱗にふれると怒鳴られ、叩かれ、家から追い出されることもありました。

父は、強制することは無く、アドバイスをすることでやりたいことをやりなさいという感じでした。離婚する時も再婚する時もあれこれ言わず、受け入れてくれました。

そんなこともあり、父親の

ことを嫌いだと思うことは一度もありませんでした。今思えば心の広い人だったと思います。

1月にコロナに感染して入院した時は、もう戻ってこれないと思いました。コロナは治りましたが、自宅で生活するのは、難しいと言われました。ただ本人が、「死んでもいい」と言うので、母親と一緒に看護介護することになりました。大変なのはわかっていますが、最後のわがままを聞いてあげたいと思いました。

3週間間位仕事を休み、会社には迷惑を掛けましたが、最後まで自宅で見取ることが出来たのは、3人とも良かったと思います。

ワイビー(株) 代表取締役

野田 祐一／記
(中讃第1支部)